

# 第58回卒同期会・広島開催

平成26年10月25日（土）に、東京校第58回卒の同期20名（1名無断欠席・奥方同伴2名）がグランドプリンスホテル広島に集い開催されました。早いもので卒業してからすでに45年の歳月が流れました。

このホテルは広島駅からバスで30分、タクシーで20分と少し遠いのですが、瀬戸内海の海と空に囲まれロケーションが抜群なのです。さらに、世界遺産の宮島へは高速艇で26分と利便性も良い場所なのです。受付開始とともに同期生が早々と顔を見せ、今回の参加者で唯一の花一輪（？）の東裕子（旧姓池田）さんが受付ロビーに現れた時には拍手が起こりました。

記念撮影から始まり、同期会会長の蒲池元春君の挨拶の後、物故者を偲び黙祷を捧げた後に長老の高橋篤生君の音頭で乾杯をしました。そして、幹事の竹腰利光君の司会の元、空手部の生熊義正君の広島弁で「ようきんさったの～今までしぶとく長生きしんさったの～」で宴は始まりました。

卒後45年ともなると、齢（よわい）70歳越えとなり、皆白髪が増えたり逆にテカリだしたりと孫持ちの爺らしい風貌になっておりました。話すことと言えば孫の話、持病の話からは心臓バイパス手術まで、皆さんいろいろな経験をしていることが伺えました。

ところで厚生労働省が発令した健康増進法第25条の受動喫煙禁止条令（2003年5月1日施行）を御存じでしょうか？これはあらゆる集会所でタバコの煙を吸わされることを防止せよという条令です。一昨年の熊本での同期会の時、隣で無神経な同期の方達が喫煙を始めたので席を替わったことがありました。今回はそのようなことがないクリーンな空気を楽しみたいので、事前にホテルの係の人へ灰皿を出さないようにお願いしました。

ところが、宴会場へ入るなり灰皿片手にスパスパと当然の如く吸っているタバコの奴隷が3～4名いたのです。日本歯科医師会も広島県歯科医師会も「我々の開催する会議・学会・懇親会等は会場施設内を完全禁煙とする」にもかかわらずです。日本では受動喫煙で年間20万人の人が死亡しております。

後日談として、ホテルの係へなぜ約束を破って灰皿を出したのかと問い詰めたら、私の家まで「プリンス特製ショコラ」を持って謝りに来たので、実家の金賞受賞の日本酒「超群」をお土産に持たせました。我が伝統と高貴ある校友の皆様、同期会は禁煙にしようではありませんか、押忍！

（生熊義正 記）



第58回卒同期会 平成26年10月25日 於 広島・グランドプリンスホテル広島